山紫海碧（やまむらさきにうみあおく）

第30号
東村立有銘幼・小学校
令和4年 12月1日（木）
発行者：園長・校長 平良 智

有銘幼稚園　教育実践を堂々発表！

今週29日（火）に、北部地区の幼稚園・保育園・こども園の園長・教諭が一同に会し、ここ東村で「国頭地区幼児教育研究協議会」を開催しました。本協議会では、午前に有銘幼稚園と東幼稚園での公開保育と午後にそれぞれの園の実践研究の報告会がありました。

協議会では、本園の仲田光児教諭が日々の実践研究を丁寧に報告し、北部地区の先生方と幼児教育について学び、共有するとても良い機会になりました。

幼稚園教師は、子供の「やりたい」気持ちを大事にし「遊び＝幼児期の学び」の環境を構成していきます。幼稚園でのたくさんの「遊び」を意図的に計画的に経験させることによって、子供達の学びが育ち、その積み重ねが次の小学校への学びへと繋がります。幼児教育の重要性は、今世界でも注目されており、本校においても全職員がその重要性を学び、有銘幼稚園と小学校を繋いだ魅力ある教育づくりを今後も進めていきます。